

令和3(2021)年度 沖縄県入退院支援連携デザイン事業 多職種研修 報告書

開催日時 : 令和4(2022)年02月16日(水) 19:00~21:00

テーマ : 「コロナ禍でつながる病院・診療所と地域との入退院支援のあり方」

目的 : 医療と介護の連携に係る入退院支援に関わる専門職の資質向上をめざし、「本人の意思を尊重した入退院支援と療養生活の実現～新型コロナウイルス感染症の感染拡大に起因する新たな課題への対応～」について学ぶ。

対象 : 医療ソーシャルワーカー及び退院調整看護師、地域包括支援センター職員、介護支援専門員等、地区医師会コーディネーター、市町村職員、その他関係職種等

プログラム :

19:00~19:10 開会挨拶(沖縄県高齢者福祉介護課)
講師紹介(沖縄県医療ソーシャルワーカー協会会長 新垣哲治)

19:10~20:30 講演「コロナ禍でつながる病院・診療所と地域との入退院支援のあり方
～コロナ禍における診療所で働くソーシャルワーカーの取り組みの視点から～」
講師: 榊原 次郎(さかきばら じろう) 氏
(医療法人樟立会たちかわ脳神経外科クリニック 医療ソーシャルワーカー)

20:30~20:50 質疑応答・指定発言・意見交換
司会 : 沖縄国際大学 樋口 美智子
発言者 : ちばなクリニック 医療ソーシャルワーカー 秦 克之
沖縄協同病院 医療ソーシャルワーカー 長 原野

20:50~21:00 閉会挨拶(沖縄県医療ソーシャルワーカー協会副会長 當銘由香)

主催 : 沖縄県子ども生活福祉部高齢者福祉介護課
一般社団法人沖縄県医療ソーシャルワーカー協会

開催方法 : オンライン研修

参加者数 : 91名

参加者 職種内訳

職種	アカウント数
保健師	1
医師会コーディネーター	5
介護支援専門員	17
看護師	9
教員	1
行政職員	4
社会福祉士・精神保健福祉士	31
地域包括支援センター職員	16
地域連携部	1
認知症地域支援推進員(言語聴覚)	1
不明	5
合計	91

※講師除く

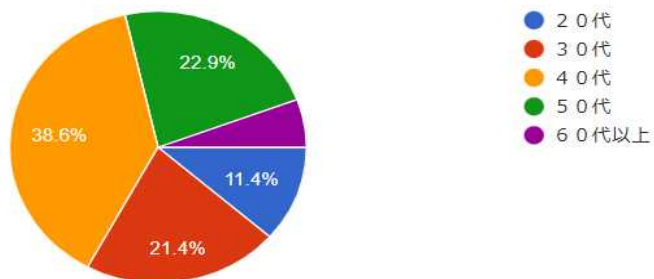
令和3年度沖縄県入退院支援連携デザイン事業 多職種研修 「コロナ禍でつながる病院・診療所と地域との入退院支援のあり方」

参加者アンケート回答結果

Web上でのアンケート実施／研修会参加者91名・回答数70件／回答率77%

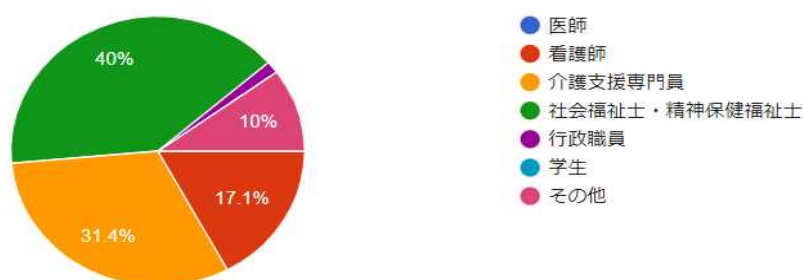
1. ご年齢

70 件の回答



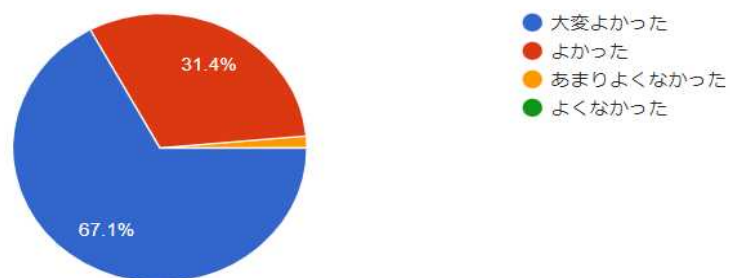
2. 職種

70 件の回答



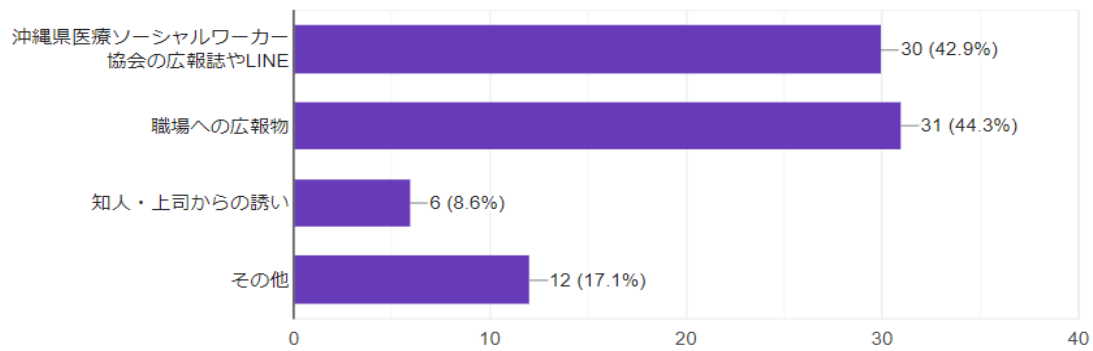
3. 研修会の内容はいかがでしたか？

70 件の回答



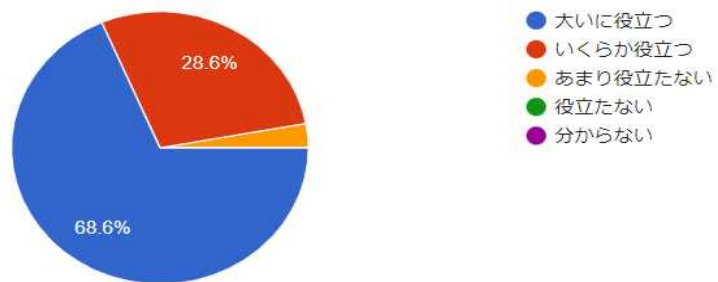
4. 当研修会の開催について、どのようなきっかけで知りましたか？（複数回答可）

70 件の回答



5. 本日の内容は今後の職務に役立つと感じましたか？

70 件の回答



6. 研修会を受けて、演者・主催者に質問がありましたらご記入ください。

	質問
1	医療保険の診療報酬で、外来部門への社会福祉士の配置等は検討されているのでしょうか？
2	病院のSWは威圧的という意見にドキッとしました。相談窓口に立つ者として、患者さんからも関係機関からも“相談がしやすい”専門職であることが大切だとあらためて感じました。また、地域活動ができていないことが今後の課題と思い、どこからとりくめるのか考えていきたいと思います。
3	榊原先生、運営スタッフの皆様、ありがとうございました。医療関係者、介護関係者がもっと顔の見える関係づくりの大切さを実感し、職種の強みを生かしての関わり合いの必要性を感じました。
4	今回はアウトリーチの言葉がとても気になりました。
5	診療所にMSWの配置がひろがると、もっと連携がしやすく、利用者様も安心して在宅で生活できるように感じました。
6	同じ職種で配置が違えども、社会福祉士が行う役割や求められる技術などは同じだなと思いました。アウトリーチの大切さや必要な関係機関にうまくつなげる等、改めて意識していきたいです。
7	地域の診療所やクリニックで患者の意思決定支援を進めていくにはどうするべきか かかりつけが地域の場合、その支援が進んでいない現状があります
8	診療所のMSWをしていて、やりがいや強みなど気になりました。
9	診療所ソーシャルワーカーは沖縄県内もまだ数ヶ所のみだと思います。今後、地域のニーズや診療所としての必要性、診療報酬に追加されるなど、その役割と機能が求められることと思います。先生が現在の診療所に採用された経緯やきっかけについて教えてください。
10	大変大人数の方の相談を受けていると思いますが、それぞれの相談内容をまとめたり、記録に残す作業など、業務の時間内に終わられていますでしょうか？ なかなかタイムスケジュール通りにいかないのがソーシャルワーカーだとは思いますが・・・工夫点などあれば教えてもらいたいです。
11	ケアマネからの相談やりとりが、どんな形で有れば連携が取りやすいのかも知りたいです。お互い気持ちよく連携を取るために、
12	入退院支援に看護師さんが担当するケースが増えている印象があります。制度についても曖昧な感じが否めないのですが、どのようにケースを振り分けているのでしょうか？

7. 研修会について、ご意見・ご感想がありましたらご記入ください。

1	コロナ禍での新たな課題を整理し、また次の研修会で改善できているか確認できるようにしたいです。
2	SWがいる診療所がほとんどないので、榊原先生の診療所でのアウトリーチ、地域ケア会議の開催等いろいろな地域とのかかわりがあることがわかり、大変勉強になりました。SWがいる診療所が増えて、さまざまな連携ができるようになれば医療介護連携の推進が進むのかなと思いました。
3	地域連携の重要性を学ぶことができて良かったです。
4	予防的支援の中で、お薬処方と外来受診の間隔から課題を取り上げて支援する、私は病院のMSWですが入退院支援のみで外来への意識が薄かったと感じました。非常に勉強になりました。ありがとうございました！
5	とても良いお話でした。ありがとうございました。
6	医療側の取り組み視点が見えて良かったです。
7	診療所を含め、支援関係機関との連携の大切さを改めて感じました。
8	可能なら、資料は事前に頂きたいです
9	地域により近い診療所の立場ならではの、患者さんご家族のニーズを拾い予防的に介入をする事の大切さを改めて感じました。 病院でしか見えない事、診療所でしか気付けない事、在宅分野にしか分からない事などそれぞれの大事な情報を顔の見える形で共有しながら、患者さん達の自己決定に皆同じ方向を向いて取り組めたらと思いました。
10	意思決定を行う関わりとして外来・入院・入院中・退院支援と 相談員の関わりが必要で特に外来では担当者の配置がとても必要で病院の中でもまだ配置できず、患者家族の問題に対しどう関わるか、また看護師・医師からの相談にどう対処するか課題があります。取り組み方にとっても興味がありました。勉強になりました。 病院でも体制がとれるよう考えていきたいと思います。
11	ケアマネージャーなど支援者がいる方へのかかわり方というか立ち位置の難しさ、すごくわかります。クライアントを混乱させないように、クリニックのMSWには立ち位置を見極めるバランス感覚も必要なんだと感じました。たくさんの視座を得ることができ実りのある研修会でした。ありがとうございます。
12	榊原先生の講義はとても具体的で実践的な内容で良く理解ができました。またSWとしての役割や視点について大切なことを学ぶことができ自らの実践の弱さ等を振り返ることができました。ありがとうございました。
13	診療所が地域とここまで繋がっていることに驚きです。私たちの地域も太いパイプでつながっていけるよう安心の地域を目指していきたいと思います。ありがとうございました。
14	経済的に通院が難しい時、クリニックで誰に相談したらいいのか悩んだことがありました。そんな時にMSWがいたらよかったなーと感じました。
15	チャット機能を使い、画面上ではありますが双方の意見交換ができ、参画したのは貴重な時間となりました。ありがとうございました。急性期病院所属のため、診療所の中身は詳しくは知りませんでした。地域の人々を支える、新たな連携の兆しが見えたような気がします。

16	診療所(クリニック)へのMSWの配置での働きや他機関との連携内容がわかりとてもよかったです。近隣の内科クリニックに通っている地域の方の生活困り事が長期・悪化し、相談に来るケースがあり、講師の榊原さんのようなMSWが配置されたらすごく良いと思います
17	またこのような機会があれば嬉しいです。
18	地域で暮らす高齢者を支えていく上で、多職種での連携の大切さを改めて感じました。MSWさんたちも地域づくりへの働きかけに協力していただいている事に感謝してます。
19	沢山の情報を頂けました。ありがとうございました。
20	電話アウトリーチというネーミングが腑に落ちました。地域連携室では時々医師から相談を受けるので、これからは迷わず実践できると思いました。 企画・運営に携わった皆様、お疲れさまでした。
21	診療所のSWと、地域包括支援センターとの連携も今後必要になってくるかと思いました。相談できる所が増えると、居宅のケアマネジャーとしても心強いです。
22	コロナ渦の入退院の話がもっと聞きたかった
23	医療側の動きが見えて良かったです。
24	クリニックや診療所にSWがいる必要性や意義が良く理解できました。役割が多職種と重複する部分もありながら、逆にその点を強みに抜け落ちない連携がしやすいこともあったと感じました。そしてなにより地域や関係機関、本人とより近い距離で、「なんか気になる」点をしっかりキャッチしてニーズをひろいあげたり、課題が悪化しないよう予防的役割をになっており、診療所にSWの配置をひろめるソーシャルアクションも私たちに求められているような気がしました。
25	沖縄でも医師会を拠点に診療所のSW配置の把握、周知があるとありがたい。
26	急な法事が入り、zoomには参加できなかったのが残念でしたが、資料が配布されいくらかの勉強にはなりました。ありがとうございました。今後できるだけ参加できれば、参加したいと思っています。よろしくお願いします。
27	今回、診療所のソーシャルワーカーの役割を取り上げてもらえて、診療所に対する見方が変わりました。これまでは、医療機関は皆、均一で、固いイメージであった。今回、演者の話を聞いて、診療所によっては患者さんのために、いろいろな情報提供をしたり、支援しているとわかり、いろいろと相談できると感じました。

8. 開催日時・開催方法・運営等について、ご意見をください。

1	講義形式ですが、チャットで質疑応答等の遣り取りが出来良かったです。
2	チャットに意見を参加者全員が一斉に書き込む方式がとてもよかった。多くのご意見を拝見出来る事がメリットです。独りで顔出ししてのコメントは緊張します。
3	参加しやすかったです。
4	勤務外のため、ゆっくり参加できました。
5	時間は、30分程短くてもいいのではないかと
6	適切でした。

7	良かったと思います
8	特にありません。
9	ズームによる平日夜の短時間開催は参加しやすい
10	Zoomでの研修だと、参加しやすいので研修開催に感謝します。ただ、時間帯の午後9時終了だと翌日の業務に支障が出てきます。
11	自宅で参加しました 子育て世代には有り難いです
12	もう少し早い時間が希望
13	良かったと思います。
14	開始前は19-21長いと思いましたが、チャットで質問も多く先生も質問に上手に対応しており、TVでみるようなテンポ感で実際はあっという間でした。ユニークなスタイルで新鮮でした。
15	特になし
16	開催日時は適切で、参加しやすかったです。

9. 本日の参加証明書の送付をご希望の方は、送付先の住所・機関名・氏名を入力して下さい。

依頼数25件